

市議会だより さつて



緑の中に赤く咲く曼珠沙華。
権現堂公園を彩り、訪れた人々の目を楽しませてくれました！

9月定例会のおもなことから

- ・ 令和元年8月臨時会・9月定例会議案 …… 2～4ページ
- ・ 各常任委員会での審査 …… 5～7ページ
- ・ 市政に対する一般質問 …… 8～15ページ
- ・ 議決結果の一覧、編集後記 …… 16ページ

No.92
2019年
11月

平成30年度一般会計決算を認定

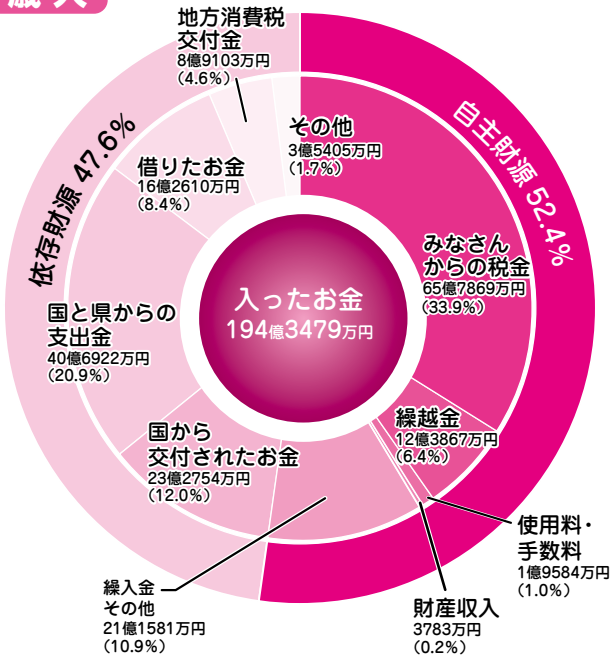
歳入総額 **194億3,479万円** 歳出総額 **185億8,102万円**
 (前年度比8.0%増) (前年度比10.9%増)

実質収支額 (決算剰余金) **7億5,768万円**

平成30年度一般会計の決算状況

9月定例会

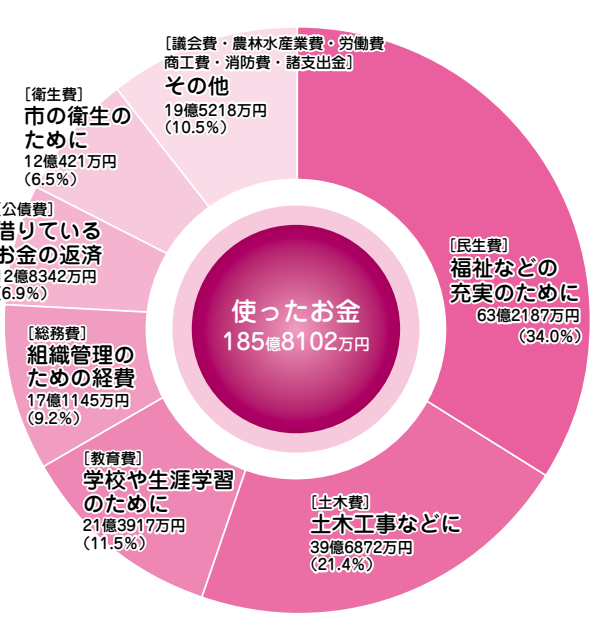
歳入



歳入・歳出
 歳入では、自主財源の根幹を占める市税(みなさんからの税金)は、前年度比2.9%の増となりました。予算現額に対する収入率は100.6%。
 歳出では、予算現額に対する執行率は前年度比5.4ポイント増の94.8%。人件費・扶助費・公債費(義務的経費)の歳出総額に占める割合は前年度比0.4ポイント減の40.5%でした。

令和元年9月定例会は、9月2日から9月26日までの25日間の会期で開かれました。幸手市長職務代理者提出議案は、平成30年度一般会計決算の認定・特別会計決算の認定・水道事業会計未処分利益剰余金処分及び決算の認定9件、条例案9件、市道路線認定・変更・廃止3件、令和元年度一般会計・特別会計・水道事業会計補正予算9件の合計30件と、報告5件でした。一般質問は、14人の議員が市政をただしました。審議の結果、いずれも原案の通り、認定、可決されました。

歳出



一般会計・特別会計の決算状況
 一般会計・特別会計(水道会計を除く)歳入決算合計は前年度比0.4%減の322億9818万円。歳出決算合計は同比2.5%増の309億7685万円でした。水道事業会計決算は収益的収入が11億4513万円。支出は10億1791万円。良好な経営となっています。給水量1mあたりの利益は、1円87銭でした。

**第2回臨時会報告
渡辺邦夫市長の退職願**

令和元年8月20日（火曜日）午後3時より第2回臨時会が開催されました。

議長より以下の内容で報告提案がされました。

本日、渡辺邦夫幸手市長より、明日8月21日をもって退職したいとの申し出を受けました。

本臨時会には、渡辺邦夫市長に對する不信任決議案が提出されることになっておりましたが、市長から退職申出書が提出されたことを受け、本決議案の提出議員および賛成議員に報告をいたしましたところ、不信任決議案については取り下げてくださいになりました。また、市長の退職申し出が明日8月21日となっておりますことから、地方自治法第145条の規定により、議会の同意が必要なため、議会運営委員会に諮り本日の議題としたものです。議長報告を受け議会はこれに同意することに全会一致で決定いたしました。

**9月定例会
本会議案質疑内容
平成30年度幸手市一般
会計歳入歳出決算
(議案第40号)**

質疑

臨時財政対策債発行開始から現在までの発行および元利償還と交付税措置された総額をまた、当市の地方債発行総額に占める臨時財政対策債の割合。また、市債発行額残高について市長職務代理者に伺う。

答弁

制度の開始である平成13年度から決算年度である平成30年度までの臨時財政対策債の発行総額は136億1570万円です。次に、平成13年度から平成30年度までの元利償還金の総額は、元金分が45億6286万7019円、利子分が9億3810万8001円、合計が55億97万5020円です。平成13年度から平成30年度までの普通交付税の算定式において臨時財政対策償還費として基準財政需

要額に参入され交付税措置された総額は52億1967万1000円となっております。

市債残高は140億2532万円で、このうち臨時財政対策債は90億5283万2981円を占めております。率にいたしますと64・5%となっております。

質疑

市税と市民税の現状分析について市長職務代理者に伺う。

答弁

平成30年度の決算額は65億7868万9011円、平成29年度は63億9364万9282円、対前年度1億8503万9729円の増となっております。増加した主な要因といたしましては、固定資産税が約1億6342万円の増、その中でも、幸手中央地区産業団地分として1億2049万円の増収となっており、産業団地による影響が全体を押し上げています。

平成30年度その他会計の決算状況

会計名	歳入決算額	歳出決算額	実質収支額
国民健康保険特別会計	6,482,193,815	6,380,255,768	101,938,047
後期高齢者医療特別会計	600,161,523	596,694,426	3,467,097
介護保険特別会計	3,736,549,121	3,574,070,258	162,478,863
農業集落排水事業特別会計	30,416,575	29,548,881	867,694
公共下水道事業特別会計	1,053,418,183	928,109,231	125,308,952
幸手駅西口土地区画整理事業特別会計	960,651,105	887,151,211	73,499,894
水道事業会計(収益的収支)	1,145,126,584	1,017,911,955	127,214,629

(議案第40号)
平成30年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について

反対討論

大平 泰二

民間橋上駅舎の、総工費10億4156万6716円(当初計画12億4500万円)に対し国の補助は2億714万9294円、率にして19.9%となっています。当初駅舎補助率55%と市民には説明した責任を明確にすべきです。駅西口土地区画整理の年次計画では6年目までは23億1601万円と計画していました。ところが事業が実施に入ると事業費が31億479万円に膨らむことが明らかになりました。

今後の区画整理の財政負担として移転補償を市は残り113棟とされていますが、移転補償費は概算で33億円となる見込みです。これに街路整備が加わると当初事業費の計画費75億7900万円を超えることとなります。今後は、街路事業に切り替え一般会計からの負担を減らすことを要求するものです。

賛成討論

小河原浩和

景気が穏やかに回復する中、幸手市の市税も1億8503万円、2.9パーセントの増となっている。3世代ファミリー定住促進事業や結婚新生活支援事業。民間保育園への建設費補助、市内全校での放課後児童健全育成事業など子育て世代への応援体制に力を入れている。また、検診や各種予防接種、ウォーキングを中心に健康づくりの推進。地域農業の振興のため、特別栽培米の販売促進、農地維持管理を行う団体への補助。商工会や市内企業と連携を図り、雇用の促進にも務めた。特に供用が開始された幸手駅や東西自由通路など、将来の幸手市発展を見据えた予算執行に対し賛成する。

賛成討論

小林 啓子

この度の平成30年度幸手市一般会計歳入歳出において実施された施策を見ますと、総務分野においては、公明党がかねてより政策提案を行ってきた高齢者の交通事故を減らすための運転免許証自主返納者に対し、タクシードライバの交付は高く評価するものである。民生分野においては、公明党の

政策提案による、障がいのある方が災害時に支援を受けやすくするために「災害時障がい者支援用バンドナ」が作成された。このバンドナは、昨年の幸手市防災訓練で初披露され、避難所にも配備された。バンドナの四隅には、「目が見えませんが」「耳が聞こえませんが」「体が不自由です」「支援が必要です」の文字が記され、どれかが見えるように着用して使う工夫がされ、大いに評価するものである。土木分野においては、東西自由通路においては、期日前投票所が設置され、投票率向上が期待される。依って、公明党は賛成討論とする。

(議案第61号)
令和元年度幸手市一般会計補正予算(第4号)

反対討論

坂本 達夫

令和元年度 幸手市一般会計補正予算に反対する立場から討論を行う。

庁舎建設基金の積立金は、今年3月に成立した幸手市庁舎建設基金条例に基づくものである。前

市長は、今年の2月に行われた庁議において、本庁舎は耐震補強工事ではなく、建て替え方針であると決定した。ただし、建て替え時期、位置、規模は未定。一方、幸手市を取り巻く財政状況は厳しさを増している。30年度末の基金残高は10億円程度と、以前は30億円もあったものが最低ラインに落ちてきている。借金ともいえる地方債残高は、140億円に達し、稀にみる高さを維持している。庁舎の建て替え方針は、自らの財政状況を見て、判断する必要がある。今回、新市長が誕生するので、新市長の判断を待って対応すべきとの考えから、この基金の補正に反対する。

第4回議会報告会のお知らせ

日時：11月17日(日)

午後4時～6時

場所：幸手市役所第1会議室

内容：議会報告(9月議会関係)

広聴会

皆様のお越しをお待ちしております。

総務常任委員会

平成30年度幸手市一般会
計歳入歳出決算の認定
(議案第40号)

問 地方創生推進交付金の事業内容は。

答 幸手市PR動画作成業務委託料、アートさんぽ業務委託料などの事業があり、合計額が800万9669円で、その2分の1が補助対象のため400万4834円という決算額になった。

問 男女共同参画推進費の報酬および旅費の内容は。

答 男女共同参画推進協議会委員の報酬は協議会1回につき、1人6800円である。また旅費については、金沢市で行われた日本女性会議に参加した委員2名分と随員職員1名分である。

問 固定資産税の収入済額28億4900万円の中で幸手中央地区産業団地分の金額は。

答 幸手中央地区産業団地分の収入済額は2億2661万3700円である。

幸手市会計年度任用職員
の給与及び費用弁償に
関する条例 (議案第48号)

問 会計年度任用職員制度が提案されるまでに至る経緯は。

答 地方公務員法および地方自治法の改正に伴い、新たに設定された制度で、今まで非常勤の特別職および一般職の非常勤職が各地方公共団体である意味ばらばらに運用されていました。そこを統一的画一的に運用するため、一般職員の非常勤職員を全て会計年度任用職員に、また、非常勤の特別職で本来、非常勤の特別職となり得ない事務的補助を行っている非常勤の特別職の方々を会計年度任用職員に移行するものである。



地方公務員法及び地方自治
法の一部を改正する法律の
施行に伴う関係条例の整備
に関する条例(議案第49号)

問 分限、懲戒の内容は。

答 分限については、一般職員の最長年数は3年までと決まっている。しかし、会計年度任用職員は最長1年の会計年度のため、1年以内で分限の処分とするという読み替え規定を追加するものである。また、懲戒については、パートタイム任用職員に報酬という形で支払われるため、その報酬も懲戒の処分対象となる規定を追加するものである。

令和元年度幸手市一般会
計補正予算 (第4号)
(議案第61号)

問 固定資産税の減額理由は。

答 固定資産税1656万9000円減の内訳として、土地は103万円の減、家屋は410万7000円の増、償却資産は1964万6000円の減である。

幸手中央地区産業団地の償却資

産が当初の見込よりも964万円減額になったこと、また、その他の法人等の償却資産の減価償却が予想よりも落ち込み、合わせて償却資産が1964万6000円減額になったことが主な理由である。

問 公用車に付けているドライブレコーダーの設置台数は。

答 公用自動車98台分のうち、ホイールレコーダーを除いて、58台に設置されている。残りの39台につけると、全車になる。

職員の安全運転意識や運転マナーの向上を図るとともに、ドライブレコーダー搭載車であることを外部に周知することによって、犯罪や事件等の抑止につながることも期待している。

問 財政調整基金ではなく使用目的が限定される庁舎建設基金に積立てる理由は。

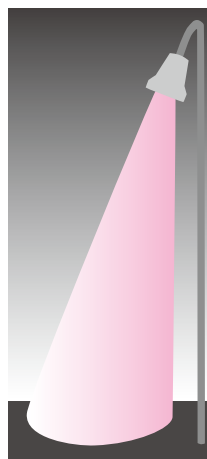
答 経済事情の変動等財源不足額を埋めるための財源、緊急、災害により生じた経費、その他やむを得ない事由により生じた経費に財源を充てるという考えになるので庁舎建設基金とは別ものである。

文教厚生常任委員会

平成30年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定
(議案第40号)

問 交通安全対策費の光熱水費の内容は。

答 防犯灯、道路照明灯、幸手駅前のロータリー等にある照明灯の電気料1796基分である。



問 は。子どもの学習支援事業の内容

答 貧困の連鎖の防止を目的に、子どもたちの学習機会のために開催している学習支援教室で、子どもたちにアスカル幸手に来ていただいで勉強を教えるという事業である。

問 合併処理浄化槽設置整備事業補助金の適用区域は。

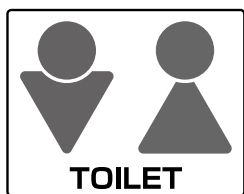
答 下水道の計画区域や農業集落排水の計画区域以外の地域に適用。

問 防災士資格取得受講料の防災士資格取得人数および累計取得人数は。

答 平成30年度資格取得人数は、5名。職員の累計取得人数は、退職員を除き、35名である。

問 トイレ大規模改修工事の未改修の学校は何校あるか。

答 児童・生徒用が、権現堂川小学校、吉田小学校、幸手中学校の第1校舎の3校。教職員用が、権現堂川小学校、吉田小学校、幸手小学校の3校。屋外トイレが、幸手小学校、権現堂川小学校、上高野小学校、吉田小学校、行幸小学校、幸手中学校の6校である。



平成30年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定(議案第41号)

問 埼玉県との共同運営に移行して、市として変わった点があるか。

答 平成30年度国民健康保険広域化により、これまで市で単独で行っていた国民健康保険運営に埼玉県が加わり、財政運営の責任主体が市から県に移った。



平成30年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定(議案第42号)

問 低所得者への保険料の軽減措置に係る人数と軽減額は。

答 平成30年度、9割軽減が1684人、8.5割軽減が1277人、5割軽減が863人、2割軽減が890人、5割軽減の被扶養者が

267人で、合計すると4981人。また、軽減額は9割軽減で4757万2370円、8.5割軽減で3603万5028円、5割軽減で1738万192円、2割軽減で718万6995円、5割軽減の被扶養者で542万4469円、合計すると1億1359万9054円である。

平成30年幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定(議案第43号)

問 地域支援事業費が対前年比47・6%増となっている要因は。

答 今まで要支援1、2と要介護1から5までを区別してやっていたが、要支援1、2の方、および要支援1、2に満たない方に、地域支援事業費から支払いをすることになり、増えてきた。



建設経済常任委員会

平成30年度幸手市一般会計 歳入歳出予算(議案第40号)

問 公園施設設備補修工事の内容は。

答 幸手中央地区産業団地神扇公園の出入り口のフェンス破損、女子トイレのボルト劣化による雨漏り、平須賀南公園の側溝のふた破損、水飲み場の水栓凍結破損の修理を行った。

問 女子トイレの雨漏りはいつ発生したのか。施工後3年経っていないのにボルトが経年劣化するとは考えにくい。どういうことか。

答 雨漏りは平成31年3月以前に発生。幸手市内の業者に現場確認を依頼し、ボルトの一部が経年劣化したことが要因とのことで、建築の欠陥ではないと判断し市で修繕した。しかし、1つのボルトの腐食が早かったのは何らかの原因があったことも考えられる。今後、このようなことがあったときは、十分に原因を確認しながら対応し

ていく。

問 大中落・中落流域概略氾濫シミュレーション業務委託で想定する用水量は。

答 降雨については48時間で217ミリメートル、北側用水から取水する計画上の用水量として幸手市区域で毎秒0・44立方メートル、久喜市区域で毎秒0・73立方メートルを想定している。

問 シミュレーションには、治水対策を総合的にやっていく具体的な市の方策がないといけないのではないか。

答 この業務委託は、大中落と中落の流域について、ある程度厳しい条件の中で雨を降らせて、5センチ以上溢れて浸水したところを着色し、大中落流域のいずれかの右岸側に調整池をつくったときにどういう効果が出るかをシミュレーションした。調整池がどういう効果を示すが主な目的であり、ほかの対策は含まれていない。

平成30年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算(議案第44号)

問 本会計は一般財源から繰り入れしてやりくりしている。個人の家だけでなく、企業の汚水の汲み入れの話は進んでいるか。

答 ある企業で管の接続までの概算の工事費を検討したところ、管渠工事をするだけでも3000万円程度の工事が必要との試算となった。投資的経費をかけることへの疑念もあり、検討はその段階で中断している。

平成30年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算(議案第45号)

問 本会計が一般会計からの繰り入れなしに運用できる見通しは。

答 公共下水道事業は平成31年度から企業会計となった。収益を上げて利益剰余金を生んで投資的経費に充填するのが理想的な形であるが、まだ、下水道は整備途中であり、現段階ではそのような経営状態にはなっていない。

平成30年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算(議案第46号)

問 モニュメント設置において、今回、本会計から支出した277万円は一般会計の当初予算600万円に含まれるべきではないか。

答 600万円の中で据え付けの安全性、設置プランは十分確保されているが、駅前広場は不特定多数の人が歩くことから、道路管理者としての安全性を確保したかった。客観的な説明を求められることを想定し、専門業者にその基礎工事の設計を依頼し、工事費は事業推進技術支援業務委託料の執行残で対応した。



平成30年度幸手市水道事業会計決算(議案第47号)

問 停電になったときの発電機は。

答 第一浄水場、第二浄水場とも発電機もあり、配水池に水があれば発電機によって配水することは可能である。

市政に対する

一般質問

今定例会では、14人の議員が9月3日、4日、5日に一般質問を行いました。質問の中から、主なものを質問者順に掲載します。

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたたくもので、市側は、質問に対し基本的な考え方や問題解決策について答弁します。

四本奈緒美議員

- 人と動物が幸せに暮らすまちづくりについて
- 奨学金返還支援制度について
- 幸手市立第二保育所の周辺道路の安全整備について

小林啓子議員

- 「エンディングノート」作成について
- 市内小中学校給食調理室へのエアコン設置について
- セカンドブック及び読書通帳の進捗状況について

坂本達夫議員

- 洪水対策について
- 幸手市役所入口交差点の右折禁止解除について
- 幸手駅西口の活性化について
- デマンド交通について
- 庁舎建設基金条例について
- 桜の季節の交通渋滞について

本田謡子議員

- 防災について
- 市職員のコンプライアンスについて

松田雅代議員

- 広島平和記念式典派遣事業について
- 全国学力・学習状況調査の詳しい分析結果について
- 東部消防組合幸手西分署廃止について
- 人口減少対策、地域創生への幸手市の取り組みについて

海老沼隆夫議員

- 広島平和記念式典派遣事業について
- 栄地区・公団幸手団地について
- 子育て応援日本一をめざすまち幸手市について
- デマンド交通他について

大平泰二議員

- 神扇地区のごみ屋敷問題の進捗状況について
- 保育ステーション計画の推移状況について
- 治水対策について
- モニュメント「ヤミ」予算について
- 広島平和記念式典派遣中の市長現行犯逮捕に対する市としての見解について
- 交通安全対策について

小林英雄議員

- 圏央道側道の久喜市側との接続について
- 生産緑地制度について

青木章議員

- 幸手桜高校について
- 東京オリンピック、パラリンピックに向けた幸手市の対応について
- 市内の土地利用等について

小河原浩和議員

- 郷土資料館の充実・振興について
- 公民館の充実・振興について

木村治夫議員

- 健康づくりの推進について
- 権現堂調節池（行幸湖）の活用について
- 市道の幅員について
- 治水、排水対策について

枝久保喜八郎議員

- 渡辺前市長の退職に至る経緯と今後の対応について
- 幸手駅西口モニュメントについて
- 学校現場の実態と改革について
- 市職員の長期休暇の実態について
- 幸手中央産業団地について
- 期日前投票業務の委託について
- 幸手市人口の未来図について
- 市公共交通機関の今後について

武藤壽男議員

- 平和記念式典派遣事業における市長の辞任に至る事務方の対応と今後の危機管理について
- 現時点における事務当局の本市の課題と事業選択についての認識について

藤沼貢議員

- 駅西口土地区画整理事業の今後の取り組みについて
- シルバー都市宣言（仮称）について

8月臨時会

傍聴者	33人の方が傍聴されました。
-----	----------------

9月定例会

傍聴者	41人の方が傍聴されました。
-----	----------------

議会インターネット中継のアクセス件数			
インターネットを利用した議会中継(ライブ及び録画)を行っております。			
7月	439件	8月	1700件
9月	3271件	の方が視聴されました。	

9月定例会 会期日程

- 9月2日(本会議)
 - ・開会・会期の決定・報告事項
 - ・市長職務代理者提出議案一括上程、提案理由説明
- 9月3日・4日・5日(本会議)
 - ・市政に対する一般質問
- 9月11日(本会議)
 - ・議案に対する質疑
 - ・議案の委員会付託
- 9月12日・13日(委員会)
 - ・文教厚生常任委員会
 - ・総務常任委員会
- 9月17日(委員会)
 - ・建設経済常任委員会
- 9月19日(委員会)
 - ・総務常任委員会
- 9月26日(本会議)
 - ・委員長報告、質疑、討論、採決
 - ・閉会

- それぞれの内容の詳細は会議録および市議会ホームページ（インターネット映像配信システム）でご覧になれます。
- 会議録は図書館、各公民館の図書コーナー、市役所の情報公開コーナー、または市議会ホームページで公開しています。
- 9月定例会の会議録は12月上旬頃公開予定です。

幸手市定住の若者に、奨学金返還の補助を！



四本奈緒美議員

Q 幸手市においては、人口減少が大きな課題となっている。

特に若い世代への幸手市定住を促進する政策として、貸与型奨学金を利用した方で、市内に居住した場合、奨学金の返還額の一部を補助してはいかがかを伺う。

A 貸与型の奨学金の返還支援として利息相当額の一部を補助するといった制度を実施する計画は無いが、現在の対応としては、相談があった際には、借入先それぞれの相談窓口等を案内している。また、幸手市の入学準備金貸付制度については、返還金の減免は行っていないが、相談があった場合には、1回あたりの返還金の見直しや返還方法の変更などの対応を行っている。各種、奨学金制

度の返還支援策については、今後の政策課題としたい。
(教育部長)



「エンディングノート」作成は



小林啓子議員

Q 「エンディングノート」とは、主に高齢者が人生の終末期に備えて、医療、介護、葬儀などについて、自分自身の希望を書き留めておくノートである。

既に全国の自治体、近隣自治体では、白岡市が作成し、配布をしている。

幸手市としても、高齢者本人

が病気などで意思表示できなくなっても、本人の希望に沿って家族や周囲の人に対応できるエンディングノートの作成をして配布をしてはいかがかを伺う。

A 人生の終末期を考えることは、その人が最期までその人らしく人生を過ごすために必要なことであると理解しており、エンディングノートは高齢者が終末期をどう過ごすかを考える一助になると考える。

市では、在宅医療・介護連携を推進しており、住み慣れた地域でいつまでも暮らしていけるまちづくりを進めている。その中で、終末期を家族などとともに話し合うきっかけづくりとしても活用できる。

これらのことから、本市においてもエンディングノートを作成し、希望者に配布したいと考えており、できれば年度内に配布できるよう事務を進めていく。

(健康福祉部長)

デマンド交通について



坂本達夫議員

Q デマンド交通の目的は、「増加する高齢者の日常生活を支える足を確保すること」である。

幸手市の65歳以上の人口を調べると、ここ数年毎年三百人、四百人と確実に増えている。バス利用者数では、循環バスは毎年年間3万1千人程度であったが、デマンド交通では8千

5百人程度と、循環バスの3分の1以下となっている。利用者数を見る限り、デマンド交通は、高齢者の足を確保できていないと思うが市の見解を伺う。

A 市では、増加する高齢者を中心とした市民の日常生活を支えるため、移動が困難な方でも利用できるなど利便性の高い公共交通として、市内全域を対象とした、家の前でも

乗降が出来る柔軟なドアトドア方式のデマンド交通を運行している。

循環バスとデマンド交通ではシステムの違いもあり、一概に利用者数を比較することは出来ないが、多くの方に利用いただけるよう、引き続き庁内の会議や地域公共交通会議で協議し、見直しを行いながら、デマンド交通を運行していきたいと考えている。

(市民生活部長)

ちがう、地震と洪水の避難所



本田謡子議員

Q 幸手市における地震と洪水の避難所の収容人数と、その人数は市民が安心できる状況なのか伺う。また、地震と洪水の避難場所はちがうが、市民は理解していると考えるのか、今後の対策も伺う。

A 幸手市地域防災計画において、指定避難所の収容人数の合計は、地震の場合は18,859人、洪水の場合は13,998人と積算している。特に洪水の場合、事前に避難する時間の猶予が見込まれることから、市外への広域避難も想定している。

地震と洪水の避難所の違いについては、それぞれ想定される災害が違うことから、事前に配布しているハザードマップにて、

あらかじめ各自で確認をしていただきたい。また、市でも引き続き周知を図っていききたい。

(市民生活部長)



広島平和記念式典派遣事業継続の前提として



松田雅代議員

Q 市長在職中の渡辺邦夫氏の広島逮捕事件は市の名を貶しめ、市民として大変恥ずかしい事件であった。中学生の安全が最優先の公務出張中のモラル無き行為に、「なぜ、あんなことが起きたのか」「歯止めとなる官僚機能はないのか」と市内外から失望の声が聞こえる。

A 市長は辞職という形でひとまずの責任は取ったが、行政にも原因を突き詰め反省と対策を講じる点はあるのでは。随行職員が持ち場を離れることの是非、来年度以降に向けた対応を伺う。

市長は辞職という形でひとまずの責任は取ったが、行政にも原因を突き詰め反省と対策を講じる点はあるのでは。随行職員が持ち場を離れることの是非、来年度以降に向けた対応を伺う。

来年度以降のこの事業についてどうあるべきか、ということをも市役所の中で総括し、検討してまいりたい。

随行職員が持ち場を離れたことは、子どもたちが一緒にいた

ので24時間、子どもたちを管理する必要があった。

役割分担等も明確になっていなかったことを含め、反省し、本来の形に戻していきたい。

この事業はすばらしい事業なので、子どもさんも保護者の方でも続けていたきたいと言う要望があったと聞いている。

(市長職務代理者 副市長)

不便なデマンド交通と、栄地区集約について



海老沼隆夫議員

Q ドアからドアまでをアピール続けるデマンド交通。しかし、その利用者数は循環バス時の3分の1まで減少。利用希望者が多数存在するのに利用出来なかったことが、利用者減少の原因と考えると良いか伺う。

ドアからドアまでをアピール続けるデマンド交通。しかし、その利用者数は循環バス時の3分の1まで減少。利用希望者が多数存在するのに利用出来なかったことが、利用者減少の原因と考えると良いか伺う。

A 循環バスとデマンド交通のシステムにおける運行形態の違いもあり、一概に利用者数を比較することは出来ないが、利用者がすべて希望どおりに利用出来なかったことが、利用者数減少の原因とは考えて

際出る大型の不要物、高齢者には、予定日に合わせて、集積所まで運搬するのは困難。特例として、階段下回収が可能に出来ないか、又は他の対応策を伺う。

いない。

粗大ごみの階段下回収は、粗大ごみへの衝突や粗大ごみの転倒による事故が危惧されるため難しいが、集積所の位置や数を変更することは可能と考えている。ひばりヶ丘桜泉園に直接搬入する方法もあるので、市に問い合わせしてほしい。

(市民生活部長)

神扇地区のごみ屋敷問題解決の進捗状況



大平泰二議員

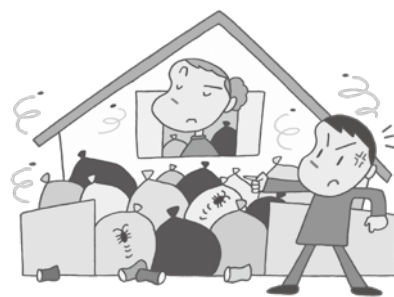
Q

6月議会以降の文書指導内容と作業規模、搬出量の進捗状況について伺う。
また、今後の指導内容についても伺う。

A

文書指導については、6月28日付けで、一般廃棄物を撤去すること、および土地・建物を清潔に保つことを指導した。

進捗状況については、行為者・環境課職員・埼玉県職員が6月から月1回のペースで廃棄物撤去作業を実施し、概ね1,300kgを搬出した。また、行為者が2回消毒作業を実施した。
今後については、引き続き現地の廃棄物の撤去、消毒作業の



指導を行い、県と協力して問題解決に取り組んでいく。
(市民生活部長)

圏央道側道の久喜市側と接続の必要性・協議



小林英雄議員

Q

現在、圏央道側道の久喜市側との接続において、葛西用水路により、寸断されている状況である。幸手市側は既に完成しており、側道を繋ぐ橋が架かれば、幸手市民にとって久喜市側へのアクセスが良くなり、利便性の高い東西に走る幹線道路となる。その必要性を鑑み、六月定例会で質問したが、

A

平成十八年度以降、久喜市と協議しておらず、今後久喜市と協議してまいりたいとの答弁であった。その後の協議状況について伺う。

圏央道側道については、行政界である葛西用水路に橋を架けることで、幸手市と久喜市の側道が繋がり、アクセスが容易となり利便性が向上するため、非常に有効であると考えている。

6月定例会後の7月に、久喜市と情報交換を行い、現在の久喜市の圏央道側道の整備状況や今後の予定を確認したところである。

今後も機会を設け、久喜市の事業の進捗を見ながら、必要に応じて協議や情報交換を行っていきたいと考えている。
(建設経済部長)

幸手桜高校について



青木 章議員

Q

埼玉県教育委員会は、現在の県立134高校を2029年4月までに121〜124校程度に減らす計画を決めました。県教委は、適正な学校規模を1学年6〜8学級としています。幸手桜高校は、5クラス200人の定員です。また、応募者数が定員ギリギリであり、今後の存続が心配です。そこで

A

幸手桜高校は、統合前の幸手商業高校からの古い歴史を有し市民にも多くの卒業生がおり、市民に愛着を持たれ、幸手になくはならない学校です。多くの方が幸手桜高校

を知り、魅力を感じてもらえるよう、そして進学希望者の確保を図るために、市と高校、地域とで様々な事業で連携を図っていききたいです。しかしながら、市職員の採用試験においては、公平に選考を行うという観点から、幸手桜高校の生徒を優先して採用することはむずかしいです。

(教育部長)

幸手市郷土資料館の充実・振興について



小河原浩和議員

Q

幸手市郷土資料館はおよそ1年前に開館し、幸手市の古代から現代に至るまでの歴史がわかる展示や人々の日々の生活を感じられる多くの民具がテーマ別に展示されており、幸手市の歴史学習の貴重な施設と思う。周辺整備を含め、今後の充実・振興策を伺う。

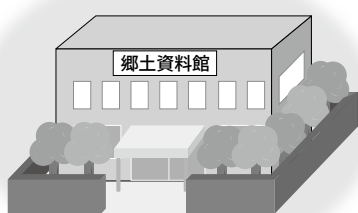
A

郷土資料館では、市の文化財や歴史資料などを守り伝えるとともに、市民の皆様が幸手の歴史や文化を学ぶことにより郷土愛の醸成を図り、更に、幸手の魅力を広く市内外に発信することにより、まちの賑わいを作り出していききたいと考えている。

また、自然豊かなこの地域に、市民の皆様の学びの場、憩いの場、集いの場を提供できる文化的な空間を創造し、新たな歴史

文化の拠点づくりを、地域の皆様と連携し取り組んでいきたいと考えている。

(教育部長)



行幸湖を活かした地域経済の発展を問う



木村治夫議員

Q 市民が郷土の自然や文化に触れることができる環境設備、また、市の魅力を発信し、地域経済を増進してゆく観点から、行幸湖の活用について伺う。

地域特性を生かした、行幸湖その周辺設備をどのように活かしてゆくのか、また、行幸湖の観光資源発掘についての市の見

解は、各公園を結ぶ回遊型観光が重要と考えるが市の考えは、2号公園整備完了後、多くの県民が訪れる、2市1町で地域連携し、行幸湖活用のための対策協議会設立にむけ調査願いたい。

れた際は、様々な楽しみ方ができる憩いの場となることが期待されることから、埼玉県と連携し、行幸湖周辺を回遊できるような観光ルートの発掘・整備を進めていく。

A 行幸湖は、現在、カヌーやドラゴンボート大会、さくらマラソン大会のコースになつていゝるなどスポーツを中心に活用がされている。

なお、行幸湖活用のための2市1町との協議会の立ち上げについては今後の検討としたい。

権現堂公園2号公園が開園さ

(建設経済部長)

ニトリの造成工事が始まる気配がないが



枝久保喜八郎議員

Q 幸手中央産業団地の最大面積契約事業者であるニトリの造成工事が始まる気配がないが、土盛りまたは地質等に問題が発生していることはないのか。

また、圏央道五霞インター横に最新テクノロジーを駆使した巨大物流施設「GLP圏央五霞」が完成し、ニトリの100%子会社

である(株)ホームロジスティクスが7割近い約9千500㎡をテナント契約しているが、これとの関連を確認しているか。新市長には、ニトリと県企業との交渉を最速でお願いしたいが。

い。同社の店舗開発の担当者からは、令和2年6月の着工予定と聞いていたが、6月に確認をしたところ、社内で協議中であるとのことであった。

A 株式会社ニトリホールディングスからは、土盛りを3mしたいとの要望があり、周りにどの様な影響が生じるか検討している。また、地質調査に問題があったとは聞いていな

今後とも早期着工ができるよう確認等をしながら対応させていただきます。

(建設経済部長)

市長辞任と退任式とは



武藤寿男議員

Q

平和都市を宣言している本市の長い歴史ある平和事業である、中学生の広島市記念式典派遣事業であるが、同行していた統括責任の立場にある渡辺市長が、取り返しのできない事件をおかした。

広島市を始め関係各方面、幸手市民、全国の多数の皆様にご心痛ご迷惑をおかけしたもので

A

8月20日付けで、「令和元年8月21日をもって、退職したいので申し出いたします。」との「退職申出書」を渡

ある。

議会も速やかな対応のため市長不信任案の提出の臨時議会の招集を請求し、開会直前市長より辞任をしたので同意をお願いする旨、申出があり辞任に至ったもので、退任式はいかがなものか。

辺前市長が議長に提出した。

その後の臨時会において、議員全員の同意を得て退職することが決定されたことから、退職日の8月21日午前8時20分から管理職級職員を対象に退任式を行ったものである。

「退職申出書」を提出し、議会の同意をいただいていたの退職であるので、通常どおり退任式を実施したものである。

(総合政策部長)

シルバー都市宣言(仮称)について



藤沼 貢議員

Q

高齢化の進展とともに、ワンポイントで高齢者が抱えるすべての問題に対応できる制度の確立が必要と考え、仮称だが「シルバー都市宣言」を提案するが市の考えを伺う。

A

市の高齢化率は上昇しており、認知症や詐欺被害など高齢者を取り巻く問題も増加が予想される。こうした問題にワンポイントで対応する制度を確立するというのは意義のあるものであると考える。

当市では地域で見守り支えあう仕組みづくりなど、住み慣れた地域での生活を長く維持できるように地域ぐるみの支援を進めているが、さらに積極的に関わっていく必要を感じている。

今後は、関係職員の資質の向上に努める他、地域の協力を得ながら、ワンポイントで高齢者がかかえるすべての問題に対応できる制度の確立をめざしていく。

(健康福祉部長)



令和元年第2回 8月臨時会議決結果

公明党…公 幸手市政クラブ…幸 自民党…自 新政会…政 新緑…緑 日本共産党…共 無所属…無 (○：賛成 ×：反対 退：退席 欠：欠席)

議案番号	議案名	議席番号・議員名															付託委員会	議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15		
—	市長の退職について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	同意

(幸手市長職務代理人提出議案)

令和元年9月定例会 提出された議案の結果

議案第39号	平成30年度幸手市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第40号	平成30年度幸手市一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数認定
議案第41号	平成30年度幸手市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第42号	平成30年度幸手市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数認定
議案第43号	平成30年度幸手市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員認定
議案第44号	平成30年度幸手市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第45号	平成30年度幸手市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第46号	平成30年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	建設経済	賛成多数認定
議案第47号	平成30年度幸手市水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員認定
議案第48号	幸手市会計年度任用職員給与及び費用弁償に関する条例	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務	賛成多数可決
議案第49号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	総務	賛成多数可決
議案第50号	幸手市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第51号	幸手市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第52号	幸手市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第53号	幸手市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第54号	幸手市立保育所設置及び管理条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第55号	幸手市立幼稚園保育料等徴収条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第56号	幸手市手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第57号	市道路線の認定について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第58号	市道路線の変更について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第59号	市道路線の廃止について	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第60号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	賛成全員可決
議案第61号	令和元年度幸手市一般会計補正予算(第4号)	○	×	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	総務 文教厚生 建設経済	賛成多数可決
議案第62号	令和元年度幸手市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第63号	令和元年度幸手市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	×	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	×	文教厚生	賛成多数可決
議案第64号	令和元年度幸手市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	文教厚生	賛成全員可決
議案第65号	令和元年度幸手市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第66号	令和元年度幸手市幸手駅西口土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第67号	令和元年度幸手市水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決
議案第68号	令和元年度幸手市公共下水道事業会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	建設経済	賛成全員可決

議会広報編集委員

委員長 宮 杉 勝 男
副委員長 小 林 啓 子
委員 四 本 奈 緒 美
委員 坂 本 達 夫 子
委員 本 田 謡 子 和
委員 小 河 原 浩 和 代
委員 松 田 雅 代 夫
委員 木 村 治 夫
委員 大 平 泰 二

編集後記

県営権現堂公園の曼珠沙華祭りも、昨年を上回る多くの観光客の皆様をお迎えして、盛大に開催され、日光道中幸手宿大通りも賑わいました。議会では、基本条例制定により、選挙で選ばれる二元代表制の下、相互に抑制と均衡を図りながら、合議制の意思決定機関として、責任を持って市民の負託に応えなければなりません。また、議員の役割を明確にし、市民と共有することで、議会のあり方について常に追求し、市民に開かれた、議会を目指してまいります。